

●森田 憲（もりた けん）

広島大学 経済学部 教授

1947年生まれ。東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得。小樽商科大学商学部助教授、教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「紛争地域現代史4－中東欧－」（編著，同文館，1996年）、「Reformy w powojennej Japonii a reformy w Polsce」（「戦後日本の改革とポーランドの改革」）、「Gospodarka i Przyszlosc」（「経済と未来」）（1/4，1996）、「On a Weakness of Japan's FDI into East European Countries」，South East European Monitor，Vol.IV，No.3，1997.

●立岩 寿一（たていわ としかず）

東京農業大学 国際食料情報学部 助教授

1953年生まれ。東京大学大学院農学系研究科博士課程修了。

<主な著書・論文>

「現代アメリカ農業の形成」（お茶の水書房，1990年）、「先進国の農業問題」（『食料環境経済学入門』所収，筑波書房，1998年）、「アメリカにおける商品先物取引利用の実態に関する研究」（『先物取引研究』第3巻第2号，1998年11月）

●岡部 守（おかべ まもる）

東京農業大学 国際食料情報学部 教授

1945年生まれ。東京大学大学院農学系研究科博士課程修了。

<主な著書・論文>

「文明を生み出す川」（農文協，1989年）、「農産物宅配流通の意義と限界」（『農業と経済』，1989年）

●大島 一二（おおしま かずつぐ）

東京農業大学 国際食料情報学部 助教授

1959年生まれ。東京農業大学大学院農学系研究科博士課程修了。

<主な著書・論文>

『中国の出稼ぎ労働者』（1996年，芦書房）

●松田 友義（まつだ ともよし）

千葉大学大学院 自然科学研究科 助教授

1949年生まれ。北海道大学大学院農学研究科単位取得退学。千葉大学園芸学部助手、講師を経て現職。

<主な著書・論文>

「農業情報の理論と実際 — 経済学からのアプローチ」(共著, 農林統計協会, 1996年)、「農協経営の計量分析」(共著, 農林統計協会, 1997年)、「生産者・生産者団体の価格リスクに対する対応」(『商品先物取引研究 — 野菜の指数化商品へのアプローチ』, 新農政研究所, 1995年)、「AUCNET's Third Challenge — Critical Success Factors for New Entrants Using Electronic Markets — 」(Proceedings of International Conference on Electronic Commerce '98)

●栗原 伸一 (くりはら しんいち)

千葉大学 園芸学部 助手

1966年生まれ。東京農工大学大学院連合農学研究科修了。鯉淵学園専任講師を経て現職。

<主な著書・論文>

「農業集落計画マニュアル化における目標選考度把握」(『農業経営研究』, 1994年6月号)、「農業改良普及活動の目標管理評価システム — 新普及計画策定のために — 」(『農業経営研究』1994年9月号)、「普及活動最適化マニュアルの開発」(『農業経営研究』1995年9月号)、「多属性効用分析による農業・農村地域開発の政策評価」(『農業経営研究』1996年3月号)

●北村 敬子 (きたむら けいこ)

中央大学 商学部 教授

1945年生まれ。中央大学商学部卒業。中央大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得。中央大学商学部助手、専任講師、助教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「デリバティブ等の会計処理と原価主義会計」(中央経済社『企業会計』1995年1月)、「会計基準の国際的調和とわが国企業会計原則」(『国際会計研究学会年報』1996年度)、「割引現在価値の導入 — FASB 公開草案をめぐって」(中央経済社『企業会計』1997年12月)、「会計情報の信頼性確保にむけて」(中央経済社『企業会計』1999年1月)

●今福 愛志 (いまふく あいし)

日本大学 経済学部 教授

1941年生まれ。日本大学商学部卒業。明治大学大学院商学研究科博士課程修了。

<主な著書・論文>

「会計政策の現在」(同文館, 1992年, 第21回日本公認会計士協会学術賞)、「企業年金会計の国際比較」(中央経済社, 1996年)

●富塚 嘉一（とみづか よしかず）

中央大学 商学部 教授

1952年生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。同大学大学院商学研究科博士課程単位取得。

<主な著書・論文>

「会計認識論」（中央経済社，1997年）、「会計研究における方法論的枠組の探究」（『商学論叢』第38巻第2－3号，中央大学商学研究会，1997年3月）

●田代 樹彦（たしろ たつひこ）

名城大学 商学部 助教授

1965年生まれ。中央大学商学部卒業。同大学大学院商学研究科博士後期課程修了。松阪大学政経学部専任講師、助教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「情報環境の変化と会計ディスクロージャー」（国際会計研究学会報（1996年），1997年3月）、「ルクセンブルグにおける財務報告制度」（『松阪政経研究』第17巻第1号，1999年3月）

●西澤 茂（にしざわ しげる）

上智大学 経済学部 助教授

1964年生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。同大学大学院商学研究科博士課程単位取得。

東京理科大学経営学部助手、専任講師、上智大学経済学部専任講師を経て現職。

<主な著書・論文>

「現在価値による会計測定の意味と問題点」（『会計』1997年5月）、「公正価値会計の有用性」（『国際会計研究学会報（1996年），1997年3月）

●花輪 光（はなわ ひかる）

コーネル大学大学院 農業資源経済経営学博士課程在籍

1971年生まれ。東京大学経済学部卒業。コーネル大学大学院農業資源経済経営学修士課程修了。

<主な著書・論文>

“An Econometric Analysis of the U.S. Kiwifruit Industry”（Research Bulletin 97-07, Dept. of Agricultural, Resource, and Managerial Economics, Cornell University, 1997. 共著）、「米国における牛乳・乳製品先物市場の現状」（『日刊酪農経済通信』創刊40周年記念特別号 — No.45, 1998年7月）

●鈴木 宣弘（すずき のぶひろ）

九州大学 農学部 助教授

1958年生まれ。東京大学農学部卒業。農林水産省入省。

<主な著書・論文>

「北米地域穀物需給動向等調査分析検討事業実施報告書」（共同執筆，国際農業交流基金，1998年3月）、「コメ生産調整の評価とその撤廃後のコメ政策に関する一考察」（『21世紀の米経済・米政策に関する調査研究中間報告書（第2年度）』，21世紀米経済・米政策研究会，1998年4月）

●岸本 裕一（きしもと ゆういち）

桃山学院大学 経営学部 教授

1953年生まれ。京都大学大学院農学研究科博士課程修了。桃山学院大学経営学部助教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「米の輸入問題のゆくえ」（『農業と経済』第57巻第8号，1991年7月）、「農産物流通における情報ネットワークシステムの確立と流通成果の向上」（『農業計算学研究』第24号，1991年12月）、「国際化時代の農業経済学」（共著，富民協会，1992年3月）、「わが国の米市場開放問題に関する国際公共選択論的研究」（国際公共経済学会，1992年12月）

●竹歳 一紀（たけとし かずき）

桃山学院大学 経済学部 助教授

1963年生まれ。カリフォルニア大学バークレー校大学院農業・資源経済学研究科博士課程修了。名古屋大学経済学部助手、京都府立大学農学部講師を経て現職。

<主な著書・論文>

「期待将来価格の変化と農家の行動 — 合理的期待を仮定した動学的農家経済モデルの構築 —」（『経済科学』40巻2号，1992年）、「Intertemporal Choices of Japanese Farm Households under Rational Expectations」（カリフォルニア大学バークレー校博士論文，1993年）、「期待価格の変化による農業・非農業労働供給への動学的効果に関する実証分析」（『名古屋大学大学院国際開発研究科開発・文化叢書17』，1996年）、「環境保全型農業論」（共著，農林統計協会，1996年）

●八田 英二（はった えいじ）

同志社大学 経済学部 教授

1949年生まれ。カリフォルニア大学大学院バークレー校経済学研究科博士課程修了。同志社大学経済学部専任講師、助教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「広告と市場競争」（有斐閣，1981年）、「寡占産業の経済学」（共編，頸草書房，1989年）、「日本経済の変貌」（伊藤史朗、廣江満郎、佐竹光彦、北川雅章と共著，晃洋書房，

1991年)、「日本経済の解明」(伊藤史朗、廣江満郎、佐竹光彦、北川雅章と共著、晃洋書房、1994年)、「What's 経済学」(共著、有斐閣、1996年)、「日本経済を見る眼」(伊藤史朗、廣江満郎、佐竹光彦、北川雅章と共著、晃洋書房、1998年)

●伊藤 史朗(いとう しろう)

同志社大学 名誉教授

1926年生まれ。京都大学大学院退学。同志社大学経済学部専任講師、助教授、教授を経る。

<主な著書・論文>

「日本の経済発展と金融」(晃洋書房、1997年)、「日本経済と金融」(編著、晃洋書房、1997年)

●廣江 満郎(ひろえ みつろう)

関西大学 経済学部 教授

1949年生まれ。同志社大学大学院経済学研究科単位取得退学。大阪商業大学商経学部専任講師、助教授、教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「貨幣・信用集計量と経済活動」(『現代日本の金融システム』所収、1996年8月)、「東京工業品取引所貴金属市場に関する実証的研究」(共著、『先物取引研究』第2巻第2号、1996年3月)、「マネーサプライ $M_2 + CD$ 、銀行貸出と実体経済変数 — グランジャーの因果性テストを中心として」(『経済論集』(関西大学)47巻6号、1998年3月)、「金融経済と金融政策」(三和書房、1998年)、「入門 金融取引」(共著、晃洋書房、1998年)

●佐竹 光彦(さたけ みつひこ)

龍谷大学 経済学部 助教授

1955年生まれ。同志社大学大学院経済学研究科単位取得退学。大阪商業大学商経学部専任講師、助教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「相対価格の変動とインフレーション」(『経済学論叢』(同志社大学)37巻1・2号、1986年3月)、「日本における景気循環の周期と変動要因の統計的分析」(『大阪商業大学論集』96号、1993年6月)、「ストック=ワトソン・タイプの景気指数 — 日本経済への適用」(共著、『経済学論叢』(同志社大学)45巻1号、1993年9月)、「名目金利によるインフレ予測について」(『経済学論叢』(同志社大学)48巻3号、1997年3月)

●北川 雅章（きたがわ まさあき）

同志社大学 経済学部 教授

1959年生まれ。同志社大学大学院経済学研究科単位取得退学。龍谷大学経済学部専任講師、助教授、同志社大学経済学部助教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「中間目標政策と金融構造」（『季刊理論経済学』38巻3号，1987年9月）、『金融政策ルール』に関する計量分析」（共著，『経済学論叢』（同志社大学）47巻2号，1996年3月）、「金融政策の『操作目標』のコントロール可能性」（『経済学論叢』（同志社大学）48巻3号，1997年3月）